

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	宮崎県	事業実施主体	宮崎県、西米良村	地域再生計画名	『都市と山村を繋ぐ「カリコポーズと1000人が笑う村」づくり計画』							
計画期間	令和4年～8年度	評価責任者	西米良村建設課長									

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度						
	指標 1	観光客の増加	116, 186人	R2	120, 833人	R6	123, 140人	127, 804人	R8	○	指標総数	達成数	
	指標 2	森林整備面積（造林）の増加	5. 0ha	R2	6. 0ha	R6	9. 2ha	7. 0ha	R8	○	3	2	
	指標 3	森林整備面積（間伐）の増加	5. 0ha	R2	7. 0ha	R6	6. 4ha	10. 0ha	R8	×			林道の整備については、概ね順調に進んでおり観光客の増加もみられ中間目標を上回っている。今後、村道の整備も進めば最終目標を上回ると考える。
													林道の整備が順調に進んでおるが森林整備面積（造林）については中間目標値を上回った、今後とも路網の整備を継続的に行っていく必要がある。
													林道整備により森林整備は活発に進んだが、施業が間伐から全伐に移行したため、該当路線周辺の間伐実績は目標を下回った。

②事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（R6）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	村道「児原線」	571m	0m	571m	用地購入が完了し、改良工事にむけ保安林解除を行っている。
	村道「鉾山谷古川線」	1120m	0m	1120m	同一路線で災害復旧事業を施工しており、施工時期を調整している。
	林道「長谷・児原線」開設	6, 170m	55m	6, 170m	同一路線で災害復旧事業を施工しており、施工時期を調整している。
	林道「長谷・児原線」法面改良	200m	200m	200m	長谷・児原線法面改良については、当初計画通り整備を行い計画値に達することができた。
	林道「天包山線」改良	540m	540m	540m	天包山線改良（舗装）については、当初計画通り整備を行い計画値に達することができた。
その他の事業	米良三山登山道整備事業	森林路網の整備と併せて米良三山の登山道整備を行う。			登山者が安全に利用できる登山道を継続的に整備していく。
	間伐材生産強化事業	利用されることのなかった間伐材生産を実施する。			間伐材生産強化補助金等を利用し、今まで利用される事のなかった間伐材を搬出間伐し間伐材生産強化を図る。
	森林整備事業（造林・下刈・徐間伐）	搬出間伐等の森林施業及び森林作業道の開設を行う。			各種補助事業により事業を実施し、搬出間伐等の森林施業及び森林作業道等の開設を行う。
計画外で独自に実施した事業					

③評価方法	地域再生計画評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討を行う。
④中間評価の公表方法	西米良村ホームページに掲載
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を一体的に実施し、点在する観光資源をつなぐ観光ルートづくりによって周遊・滞在型観光に結び付くとともに、林道網を計画的に整備することによる林業における木材搬出や保育経費の軽減及び林業従事者の環境改善により林業施業の効率化が実現できると考える。

⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況		有りの場合その具体的内容
	地域再生計画の見直し（有・無）		
	令和4年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円		

⑦今後の方針等に対する対応	本地域再生計画においては、当計画に向けて整備が進んでいるものの、開設途中の林道路線及び村道整備路線において計画着手時の調査等では想定できなかった自然災害等の発生に起因する整備の遅れが生じている等の問題にも直面している。現段階においては、未整備路線も存在するが概ね計画通りに目標値も達成できている。今後も計画的に整備を継続していきたい。
---------------	---